

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

非財務情報の開示や充実の背景 伊藤 邦雄（一橋大学CFO教育研究センター長）

1. 機関投資家は気候変動関連のリスクや機会、人的資本など、非財務情報の開示や充実をますます求めるようになってきている。その背景は大きく3つある。1つ目は会計の地殻変動だ。かつては最新の生産設備など、ピカピカの有形資産を持っていれば競争力が上がり、ひいては企業価値も高まった。ところが、1990年代後半以降、企業価値を高めるドライバーが無形資産へと移った。有形資産は財務諸表に載っている。ところが無形資産は一部のソフトウェアや「買収のれん」位しかない。
2. 2つ目は国連のPRI（責任投資原則）に盛り込まれたことだ。その投資原則に非財務情報であるESG（環境・社会・企業統治）情報の分析が盛り込まれた。2006年のことだ。短期的な儲け主義で地球環境が荒らされていると憂慮した。
3. 3つ目は、長期保有リスクへの関心の高まりだ。ESGにきちんと取り組んでいけば環境や社会の変化への適応力があるだろう、不祥事が起こる可能性も低いだろうということで、ESGが注目を集めた。そこにSDGs（持続可能な開発目標）の流れが重なり、非財務情報への関心が高まった。そこから、2015年に主要国の中央銀行や金融当局が集まる金融安定理事会で、「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」ができた。

（参考：「週刊東洋経済」2022年1月22日号）

経営者のための危機管理

世界的な資源インフレでの企業の声 （企業の7割が「経営に打撃」大手50社）

1. 精密機械業…原油高と運送コストの上昇は、そう簡単には下がらず、この水準で固定する可能性が高い。国全体で賃上げを行って、同時に価格転嫁を進めるべきだ。
2. 建設業…資材コストの上昇局面は非常に難しい経営環境。
3. 食品業…低価格志向の強い食品を扱う当社にとって、コスト高の継続は経営状況に影響を与える。価格訴求ではなく価値訴求をしていく。
4. 陸運業…同業者間での顧客獲得・価格競争も激しいため、価格転嫁に至っていない。いよいよコロナ禍から脱却と思っていた時期に、インフレを理由に消費が抑え込まれるのは痛い。
5. 電器機器業…コロナ禍による消費動向の変化、環境意識や人権問題意識などの変化、技術的進化が同時に起こっている。企業には環境対応や人権対応など、これまでに無視されてきた外部コストが追加コストとして課せられることが不可避。

（参考：「週刊ダイヤモンド」2022年2月5日号）

ワンポイント経営アドバイス

大切なのは「部外者の視点」

鳥塚 亮（えちごトキめき鉄道社長）

1. 2019年から新潟県にある第3セクター、えちごトキめき鉄道（上越市）の社長を務めています。観光列車を走らせるだけではなく、普段は立ち入り禁止の車庫を巡るツアーとか、回送列車ツアーなどを企画しています。何に価値があるのかを発掘するのがポイントです。自分たちには当たり前のものであっても、外の人にとってはワンダーランド（おとぎの国）だったりします。
2. 大切なのは、「部外者の視点」です。地元の人にとっては価値がないと思えたり、忌み嫌ったりするものでも、人によっては大きな価値があります。感度が高い若者や都会から移り住んだイターン人材らのアイデアを生かし、そうしたものをSNS（交流サイト）で発信してみることで、「若いくせに生意気だ」なんて、言ってもらいたいです。

（参考：「日経ビジネス」2022年1月7日号）

古典に学ぶ

能率が良くなる

（解説）能率が悪いということは職工が何かにある語ですが、職工ばかりでは無い。通常の事務を処する人でも、この時間にこれだけの事をするということを遅滞なく完全に遂げて行くことが出来ると、仕事は沢山に出来て来る。すなわち、能率が良くなる。事務においてもなおしかりと思う。

（参考：渋沢栄一「論語と算盤」：国書刊行会）